

2010 年度第 2 回執行理事会議事録

期 日：2010 年 7 月 31 日（土） 13:00～18:00

場 所：地質学会事務局

出席者：宮下会長，久田・渡部副会長

藤本常務理事 斎藤副常務理事 井龍 石渡 坂口 高木 内藤 西 平田 向山 山口 各理事，（事務局）橋辺

欠席者（委任状提出あり）：小嶋 中井 藤林 星 各理事

*定足数（12，委任状含む）に対し，出席者 14 名，委任状 4 名，合計 18 名の出席で執行理事会の開催は成立。

* 前回議事録を承認

審議事項

1. 法務局提出書類とその関連事項について

・法務局の指摘に対応して修正したものを総会・理事会議長および監事の承認を受けて提出することとした。

・改選年度において開催している 1 回の総会の前半と後半で代議員を入れ替えて行っている現在の進め方は，1 度の総会を行っているとの外部からの理解が得られにくいほか，総会進行や事務手続きが非常に煩雑である．基本的に前年度(改選前)の代議員と役員とで行えるよう，総会の持ち方を検討する．理事会で選任した代表理事や執行理事を総会です承するタイミングなどをポイントとして，改善案を具体化することとした。

2. メールによる理事会審議について

・顧問弁護士によると TV 電話会議，WEB 会議なら可能であるがメール審議は難しいとのこと．理事会決定事項については定例総会で、必要がある場合には臨時理事会を開催することを再確認した。

・委員会規則の承認については，各委員会規則のなかで承認元を執行理事会にする等，委員会の性格や重要度に応じて統一的に対処する．業務委員会規則などは理事会で決定する。

3. 理事会規則の修正と法務委員会規則案について(法務委員会提案)

業務委員会として理事会の下に定めた委員会以外に事業運営推進のために理事会が必要とする委員会は，理事会規則第 14 条の追加改正によって，理事会決議で設置できるようにする．これによって現行の法務委員会を規則上正式に設置する．今後会長のもとに置く形にできるよう，定款で明示する方向の改定案を来年度総会に向けて議論を進める．法務委員会規則案については次回理事会で承認，決定する。

4. 地質学雑誌編集委員会規則（案）について

委員の委嘱について，「理事会が承認する」ことをけずる。

条文のうち「若干名の委員」→委員とする。

理事会規則に対して整合性がとれるようにチェックをする。

5. 地質学雑誌図表説明の英文校閲と費用について

キャプションの英文の品質を確保するために、編集委員会が必要と認めた原稿のキャプションについて、英文校正の支援を行うことを了承。予算最大 18 万円/年 の見込み。

6. 行事委員会規則(案)について

委員の構成，委員の選任等の文章に，不適当な部分があるので，再検討を求める。

7. 「学術体会における見学旅行実施に関する申し合わせ事項」の追加修正

中止になった場合の費用負担，予定外の費用負担のルールを決めることにする。主催者都合による中止の場合，申し込みを締め切ったとき，それ以降の時期について分けて書く。

8. ジオパーク支援委員会の今後の体制づくりと委員会規則（案）について

委員会と各委員の活動，任務等に重複が生じないような整理が必要，外部委員を入れることも可能にする条項を追加する。委員の人選については，担当執行理事が検討する。富山大会時までには委員会規則，人選を固める。

9. 地学オリンピック支援委員会の設置について

審議事項 3 の理事会規則の改正項目によって，理事会の下に設置し，委員会規則作成をする。

10. 地質環境の長期安定性委員会設置(吉田委員長、継続)申請および委員会規則（案）について

委員会規則については，啓蒙・情報普及→情報提供，とすべきなど、条文を再検討いただく。

11. 学会標準策定活動について（渡部副会長）

外部から事業を受ける際および学会が組織として外部の標準関連活動に関わる際に統括する標準策定委員会（仮称）を理事会の下に設置する。個別事案については WG を作って対応する。このための規則等を整える。

12. 学会における受託事業の実施について（渡部副会長）

ガイドラインの作成がポイントになるので，運営財政部会を中心に検討する。透明性，会員への公平性，リスク管理等が重要。他学会の事情調査も行う。法務委員会での検討も経て次回の理事会にたたき台を提案する。

13. 見学旅行案内書復刻版（CD 化）について

古い巡検案内書を CD 版にすることは発行元や著者に係る手続き的に困難が予想される。関東支部の希望は会員限定ページに掲載することで対処したい。学会として、125 周年に向けてすべての巡検案内書をアーカイブすることは別途検討する。

14. 支部長連絡会議開催（富山）と話題とすべきことについて（渡部副会長）

8 月中に議案と資料をとりまとめる。支部選出理事にも参加を求めることも考える。

15. その他

1) 超歴史年表リーフレットのサイズおよびポスター化について

内容が詳細なため，リーフレット形態ではなく，ポスターでの出版を検討する。

2) 科研費補助金関連の見直しに対する意見募集について

フィールドサイエンスを重視する，地質，古生物等のキーワードを残す，等のコメントを学会から出す必要がある。ポジティブな意見をだすことが重要。執行理事が分担してキーワードとそれについてのコメントを出し，西執行理事がとりまとめて原案を作成する。

報告事項

(1) 運営財政部会：総務委員会

- ・地質学会法人化と役員交代の挨拶状送付：関連学協会、賛助会員、その他
- ・高等学校理科地学担当教員の増員に関する要望書の送付：文部科学大臣、都道府県および政令指定都市の教育委員会
- ・地球惑星連合の臨時総会（7/23）、渡部副会長代理出席。
- ・産総研地質調査総合センター主催「20 万分の 1 地質図幅全国完備記念シンポジウム」（11/16、東京）における講演依頼の打診が学会にあり、会長の了承を得た。
- ・産総研地質調査総合センターJIS 委員会への学会委員の推薦依頼があった。斎藤靖二元会長(内諾済み)にお願いすることとした。
- ・秋田大学鉱業博物館から企画展示（北投石の真実）に地質学雑誌のアーカイブ（14 巻、16 巻、20 巻）の貸出要請があり、借用書等を交わして貸し出すことを承諾した。

<外部の賞の募集>

1. 朝日賞候補者推薦依頼（8/31 締切）、News 誌、HP、geo-flash に掲載
2. 東レ科学技術賞および科学技術研究助成候補者の推薦（10/08 締切）News 誌、HP、geo-flash に掲載
3. 沖縄研究奨励賞推薦応募協力依頼（9/30 締切）News 誌、HP、geo-flash に掲載
4. 大学女性協会より守田科学研究奨励賞募集（11/30 締切）News 誌、HP、geo-flash に掲載

<共催・後援その他依頼・要請等>

1. 「韓日地質学会室戸合同大会」について、室戸市および室戸ジオパーク推進協議会にたいし、後援を依頼した。
2. 朝日新聞社主催の「第八回ジャパン・サイエンス&エンジニアリング・チャレンジ (JSEC2010) ~高校生“科学技術”チャレンジ~」の後援名義使用依頼について例年のとおり承諾した。
3. 埼玉県地学研究委員会(担当委員 岡野裕一会員)の理科教員を対象とした「秩父盆地周辺の地域での見学会（7/28-29）」の後援名義使用依頼について例年のとおり承諾した。
4. 日本地球化学会の 2010 年度年会（9/7-9）の共催依頼について例年のとおり承諾した。
5. 「Techno-Ocean2010」（10/14-16、同実行委員会事務局 神戸国際観光コンベンション協会）の協賛名義使用依頼について例年のとおり承諾した。
6. 土壌環境センター・日刊工業新聞主催の「2010 土壌・地下水環境展」の協賛名義使用依頼について例年のとおり承諾した。
7. 深田地質研究所「第 129 回・第 130 回深田研談話会」（11/5,11/6 高知市、土讃線ジオツアー）後援名義使用依頼について承諾。

<その他>

1. 日本学術振興会学術システム研究センターから科学研究費補助金「系・分野・分化・細目表」に関する意見募集、8/27 締切り → 審議事項 15-2)
2. 政府の財政運営戦略の「中期財政フレーム」(6 月 22 日閣議決定)による政策的経費の削減(8% ずつ 3 年間)による国立大学法人運営交付金および私立大学等経常費補助の削減(合わせて単年度 1,185 億円)について、国立大学法人 32 大学理学部長会議、国立大学協会・私立大学団体連合会などの緊急声明文が出された。geo-flash に掲載
3. 日本学術会議地球惑星科学委員会有志一同による 声明文「IPCC 第 4 次報告書を取り巻く状況

について」が出された。News 誌、geo-flash に掲載

4. 社) 日本原子力学会役員挨拶状：新会長 辻蔵米蔵(電気事業連合会)
5. 石油技術協会役員挨拶状：新会長 和佐田演慎 (JOGMEG)
6. 応用地質学会役員挨拶状：新会長 千木良雅弘 (京大防災研)
7. 日本土木学会役員挨拶状：新会長 阪田憲次
8. 石油資源開発㈱、日本海洋石油資源開発㈱役員就任挨拶状：両社、社長重任 渡辺 修

<会員の動静その他>

1. 今月の入会者 (91 名) 大会講演申し込み時に増加するのは毎年の通り。
正会員 (13), 正〔院割〕会員 (64), 正〔学部割〕会員 (14)
2. 今月の退会者
退会 (正 12) 宮坂 綾, 生野静香, 安井光大, 森 啓一, 引地原野, 青木優作, 松下 新, 中西信弘, 山本松男, 石川夕夏子, 奥 直樹, 関根秀人
3. 6 月末日会員数
賛 28 名誉 75 正会員 4038 (内訳: 正 3907, 院割 125, 学部割 6) 合計 4141 (昨年比 -169)

(2) 運営財政部会：会計委員会

1. 富山大会見学旅行案内書について
印刷所：荒川印刷、印刷部数：350 部、見積り金額：76 万円
2. 見学旅行の実施に関する費用について、「見学旅行実施に関する申し合わせ事項」に記されていない部分 (旅行の中止並びに予想外の経費増加など) について、実行委員会からの質問に対し検討した。これらの事を申し合わせ事項に追加することを提案する。→審議事項 7
3. 7/23 会計委員会を開催
 - ・篠原会計士に、今後の法人会計について相談
非会員の学会参加費用等に税金がかかるので、その会計処理を行っていく必要が出てきた。
 - ・任意団体と法人の間で取り交わした「譲渡契約書」の文言修正について
会計士と相談し、譲渡でなく移譲と、文言を訂正する。
 - ・神田税務署からは損益計算書の提出を求められている

(3) 広報部会：広報委員会

- ・Ggeo-Flash を含めた定期刊行物関連は内藤理事、それ以外を坂口理事が担当することとした
- ・フォトコンテストの募集を行う。今年は単独開催なので、経費節減を図る。早急に Web をオープンにする
- ・第四紀学会年會に学会ポスターを出展する。

(4) 学術研究部会：行事委員会

1. 7/10, 7/17 の両日、行事委員会を開催
 - ・富山大会の発表数：シンポジウム 74 件 (口頭 65・ポスター9), 一般発表 488 件(口頭 260・ポスター217、実行委員会主催特別講演会 11), 合計 562 件
 - ・夜間小集会 13 件
 - ・ランチョン 10 件
2. プレスリリースについて

・現在までに 8 件の発表が推薦されている(締切 8/10). 行事委員が内容をチェック中.

3. 地質情報展関係

・17 日のオープンセレモニーに会長が出席する。

4. ジオパーク支援委員会による関連行事

・地質情報展：渡辺真人氏によるミニ講演会「ジオパークに行こう」

・夜間小集会：「ジオパークへの地質学会支援のあり方」

世話人氏名：天野一男・高木秀雄・渡辺真人

(5) 学術研究部会：国際交流委員会（石渡）

・モンゴル地質学会副会長、オチル・ゲレルさんのビザ申請書類を整え、本人宛に送付。

・韓日地質学会合同大会（室戸ジオパーク）の参加予定者は 78 名，韓国 35，国内 42 の予定。

(6) 編集出版部会：地質学雑誌編集委員会（小嶋編集委員長）

1. 編集状況報告（7 月 28 日現在）。

2010 年度投稿論文 総数 47 編 [総説 17 (和文 17), 論説 17 (和文 15・英文 2), 報告 4 (和文 4), 短報 7 (和文 7) ノート 2 (和文 1・英文 1)] 口絵 9 (和文 4 英文 5)

査読中 44 編 受理済み 36 編 (うち通常号 11 特集号 25)

2. 一般社団法人日本地質学会地質学雑誌編集委員会規則（案）の作成 →審議事項 4

3. 図表説明の英文校閲外注の検討 →審議事項 5

(7) 編集出版部会：アイランドアーク編集委員会（井龍編集委員長）

1. 編集状況報告

CI 値を上げるには IA の論文の引用が重要。

(8) 編集出版部会：企画出版委員会（担当：山口、藤林）

1. 地方地質誌：九州・沖縄地方(7 月末刊行)、北海道地方 11 月刊行予定

2. 城が島リーフレット（蟹江会員）は 3 回目の査読終了微修正、9 月年会までに刊行予定

3. 超歴史年表リーフレット（清川会員）は、1 回目の査読終了。→審議事項 15

4. 地層処分関係リーフレット（地質環境の長期安定性---委員会/吉田委員長）が提出された。

内容的には問題は無い。年度内出版に向けて査読にかかる。

(9) 社会貢献部会

CPD(継続教育) ジオスクリーニングネットの仕組みを周知するため、富山大会において広報活動（ポスターの掲示、19 日午後にポスター会場にて PC によるデモ）を行う。支部行事の登録、技術士の方々の CPD 取得などについて、ブレインストーミングをおこなう。

(10) ジオパーク支援委員会（高木）

・作業部会（天野委員長，渡辺，高木，+ 斎藤副常務）開催の報告と提案 →審議事項 8

以上

2010 年 8 月 10 日

一般社団法人日本地質学会執行理事会

会長（代表理事） 宮下純夫

署名人 執行理事 藤本光一郎

* 今後の執行理事会の予定について

執行理事会

8月 休会

9月4日(土) 13時～ 事務局 四役 11時～

9月17日(金) 12時～13時 富山県民会館

10月9日(土) 13時～17時、以後(土曜日) 11/13 12/4(理事会前)

理事会開催予定

9月17日(金) 富山県民会館 14時から

12月4日(土) 東京科学技術館 13時から